

在宅お看取りは不安！無理！からありがとうへ

平素は格別のご贔屓にあずかり、誠にありがとうございます。
舞い散る枯れ葉や冷たい風に、本格的な冬の訪れを感じるこの頃。
あっという間に年内最後のひと月「師走」となりました。今年1年、大変お世話になりました。
今回も事例紹介をさせていただきます！
今回は、『最期は病院で！から自宅で最期を迎えたターミナルケア』をご紹介します。



ホームページも開設しております。『ネットワーク訪問ナースステーション』で検索すると、一番上に出てきますので、是非覗きにきてくださると嬉しいです🐼今後ともよろしくお願い申し上げます。(橋井)



B様。90歳代後半男性。現病歴：認知症、心不全、大腸癌末期、便秘。要介護4 ADLはキープしているが、倦怠感を訴えほぼ寝たきり。妻と同居で妻が主介護者。ご息子ふたりで長男独身、次男は近隣に居住。週2回の入浴で通所利用。

近隣クリニックに通院していたが、倦怠感が強く大学病院で検査。心不全で心臓手術を受ける。退院を機に訪問診療医導入。妻が介護しているが、妻の病識がなく、手術すれば完治したと、以前同様でないと言主治医に訴えることが多かった。大腸癌のことを説明するが、理解できないので、主治医からケアマネさんに訪問看護師を導入した方が良くと提案あり、ケアマネさんからご相談頂く。訪問すると、ご本人も家族も看護師が来て何をしてくれるのか？と必要性を感じていなかった。入院中はせん妄で点滴を自己抜去し点滴中は家族が付き添っていた。便秘で弄便行為があり、ご家族は非常に困っていた為、排便コントロールで訪問開始となった。介護相談や医療相談をするようになり、ご本人の病状を話す機会があった。「高齢だからいずれは病院に救急車で連れて行こうと思う。でもどうなったときに救急車呼べば良いのかしら？」と相談を受けた。コロナ禍であったため、救急搬送の難しさを伝え、訪問医や訪問看護師をまず呼んで下さいと伝えた。この時点でターミナルでいつ急変するかわからない状況であったため、ご家族を集めて、お看取りの話をする。「面倒看きれない、どうなるか不安で無理だから病院で看取ってもらいたい」と希望された。ではその様にといいことにして、この頃は意識レベルも下がってきて、漸く福祉ベッドを導入することにした。ある日、奥様は「お父さん病院で家に帰るって暴れて、家が良いのよのね。(病状)すごく悪いのよのね。後、どのくらいかしら？家で看取れるのかしら？」と話された。「ご本人はきっと家が一番いいと思いますよ。大好きな家族と気兼ねなく過ごせるのが一番いいですよ！」と伝えるとご本人が「そうだよ、そうに決まってる」と話された。それを機に息子さん達が積極的に介護され、心が一つとなり、保清やトイレ介助等々毎日大笑いしながら介護し、ご本人も「ありがとう」と笑いの耐えない日々のある早朝に「今、息が止まったみたいだ」と緊急コールで訪問し、お看取りとなった。ご家族から「我が家で本当に素晴らしい経験をさせて頂きありがとうございます。」と言葉を頂戴した。



神経難病、認知症、精神疾患、がんターミナル、看護師によるリハビリ等を特に得意としております。悩んでいるご利用者に医療相談や訪問看護お試しサービスを無料で行ってまいります。
お気軽にお問い合わせください！



Facebook
開設いたしました！



24時間
対応

ターミナルケア・お看取りも
対応いたします

訪問地域 **その他の地域もぜひご相談ください！**

世田谷区杉並区

松原・代田・代沢・豪徳寺・梅ヶ丘・宮坂・経堂・赤堤
杉並区

永福・和泉・浜田山・下高井戸



〒156-0043
東京都世田谷区松原3-27-38
あとリエどまりおん2C

TEL: 03-6379-0683

FAX: 03-6379-0684

